目　　次

第１編　解 説 編

第１章　周知表示混同惹起行為 …… 2

第１　概　説 …… 井上周一・2
1　はじめに …… 2
2　要　件 …… 2
第２　商品等表示 …… 井上周一・3
1　「商品等表示」の意義 …… 3
2　「人の業務」 …… 3
3　「氏名、商号、商標、標章、商品の容器若しくは包装」 …… 5
(1)　氏　名 …… 5
(2)　商　号 …… 5
(3)　商標、標章 …… 5
(4)　「商品の容器若しくは包装」 …… 6
(5)　その他の商品等表示 …… 6
第３　周知性 …… 井上周一・9
1　概　説 …… 9
2　地域的範囲 …… 9
3　人的範囲 …… 9
4　周知性の程度 …… 10
5　周知性の獲得時期 …… 10
第４　類似性 …… 松田直弘・11
1　判断主体 …… 11
2　判断方法 …… 12
3　外観・称呼・観念 …… 12

4　商標法との差異 …… 13
第５　混　同 …… 松田直弘・14
1　概　説 …… 14
2　混同のおそれ …… 14
3　狭義の混同と広義の混同 …… 15
第６　混同惹起行為の適用除外（違法性阻却事由） …… 榊原美紀・18
1　概　説 …… 18
2　普通名称・慣用表示（19条１項１号） …… 18
(1)　意　義 …… 18
(2)　要　件 …… 18
(3)　例　外 …… 21
3　自己の氏名（19条１項２号） …… 21
(1)　意　義 …… 21
(2)　要　件 …… 21
4　先使用（旧来表示の善意使用）（19条１項３号） …… 23
(1)　意　義 …… 23
(2)　要　件 …… 23
(3)　適用範囲 …… 25
5　混同防止表示付加請求（19条２項） …… 25

第２章　著名表示冒用行為 …… 阪口祐康・26

第１　総　説 …… 26
1　本条の特色 …… 26
2　本条の趣旨 …… 26
(1)　企業経営の多角化・グループ化傾向 …… 26
(2)　ブランドイメージの財産的価値 …… 26
(3)　従来の判例とその問題点 …… 27
(4)　まとめ …… 27
第２　要　件 …… 28

1　自己の商品等表示として …… 28
2　著名性 …… 28
(1)　全国的著名性が必要か…… 28
(2)　どの需要者層に対して知名度の高さが必要か…… 28
(3)　どの業種において知名度の高さが必要か…… 29
3　商品等表示 …… 30
4　「同一若しくは類似」 …… 31
(1)　類似性の判断基準…… 31
(2)　類似性の具体的な判断過程…… 31
5　適用除外 …… 33

第3章　形態模倣行為 …… 面谷和範・34

第1　本号の趣旨…… 34
第2　「商品の形態」…… 35
1　意　義 …… 35
2　商品の形態についての問題 …… 35
(1)　商品の一部の形態…… 35
(2)　抽象的な特徴…… 35
(3)　複数の物品を組み合わせてなる商品…… 35
第3　「模倣」…… 36
1　概　要 …… 36
2　「実質的に同一の形態」 …… 36
(1)「実質的に同一」の意味 …… 36
(2)　判断手法…… 37
3　「依拠」 …… 38
第4　「当該商品の機能を確保するために必要不可欠な形態」…… 39
第5　商品を譲渡等する行為…… 40
第6　請求の主体…… 41
第7　適用除外…… 42

1　保護期間 …… 42
(1)　概　要…… 42
(2)　趣　旨…… 42
(3)「最初に販売された日」…… 42
(4)「販売」…… 43
(5)　商品の形態が変更された場合…… 43
2　善意取得者の保護 …… 43
(1)　概　要…… 43
(2)　善意無重過失…… 44
(3)「譲り受けた時」…… 44

第4章　営業秘密…… 藤原正樹・45

第1　不正競争防止法における営業秘密規制制定の経緯…… 45
第2　営業秘密の定義…… 45
1　「営業秘密」とは …… 45
2　秘密として管理されていること（秘密管理性）…… 46
(1)　秘密管理性が要求される理由…… 46
(2)　秘密管理性が認められるための具体的要件…… 46
(3)　秘密管理性をめぐる裁判例…… 48
(4)　秘密管理性の判断要素…… 52
3　事業活動に有用な技術上または営業上の情報であること（有用性）
…… 52
4　公然と知られていないこと（非公知性）…… 53
(1)　非公知性が要件である理由…… 53
(2)　非公知性の定義…… 53
(3)　非公知性の立証…… 54
(4)　リバース・エンジニアリングと非公知性…… 54
第3　営業秘密不正使用行為の類型…… 55
1　不正取得行為と不正開示行為 …… 55

2　各不正使用行為の解説 …… 55
(1)　営業秘密の不正取得行為等（２条１項４号）…… 55
(2)　不正取得された営業秘密を悪意で転得する行為等（２条１項５号）
…… 56
(3)　不正取得された営業秘密を善意で取得後、不正取得の介在について悪意重過失で使用または開示する行為（２条１項６号）… 57
(4)　営業秘密の不正開示行為等（２条１項７号）…… 58
(5)　不正開示された営業秘密を悪意重過失で転得等する行為
（２条１項８号）…… 59
(6)　不正開示された営業秘密を善意で取得後、不正開示行為もしくはその介在について悪意重過失で使用または開示する行為
（２条１項９号）…… 60
(7)　技術上の営業秘密に関する不正行為によって生じた物の譲渡等
（２条１項10号）…… 60
第４　立証責任の負担の軽減（５条の２） …… 61
第５　訴訟手続における営業秘密の保護 …… 62
1　営業秘密の訴訟手続上の保護制度 …… 62
2　訴訟記録の閲覧制限（民事訴訟法92条１項２号）…… 62
3　秘密保持命令（10条）…… 63
4　当事者尋問等の公開停止（13条）…… 63

第５章　原産地、品質等誤認惹起行為 …… 松村信夫・64

第１　はじめに …… 64
第２　各行為類型の解説 …… 65
1　「商品」「役務」「広告」「取引書類」の概念 …… 65
(1)　「商品」「役務」…… 65
(2)　「広告」…… 65
(3)　「取引書類」…… 65
2　「誤認させる表示」の意義 …… 66

(1)　商品の原産地、出所地の誤認惹起行為…… 66
(2)　商品の品質等誤認惹起行為…… 67
(3)　役務の質・内容に関する誤認…… 69

第6章　信用毀損行為 …… 松村信夫・71

第1　はじめに…… 71
第2　解　説…… 71
1　競争関係の存在 …… 71
2　誹謗行為 …… 72
3　「他人の営業上の信用を害する」ものであること …… 75

第7章　デジタルコンテンツの法的保護 …… 坂本優・76

第1　著作権法および不正競争防止法におけるデジタルコンテンツの保護の概要…… 76
第2　不正競争防止法上の「技術的制限手段」の意義…… 77
1　技術的制限手段の意義 …… 77
2　「検知→制限型」と「検知→可能型」 …… 78
第3　技術的制限手段に関する不正競争行為…… 78
1　２条１項11号（平成27年改正前10号）の行為類型 …… 78
2　２条１項12号（平成27年改正前11号）の行為類型 …… 79
3　「のみ要件」の撤廃 …… 79
4　適用除外（19条１項８号（平成27年改正前７号）） …… 80

第8章　ドメイン名の不正取得行為 …… 室谷和彦・81

第1　ドメイン名とは…… 81
第2　本号の意義…… 81
1　サイバースクワッティングの防止 …… 81
2　裁定制度 …… 82
3　平成13年改正 …… 82

第３　要　件…… 83
1　「不正の利益を得る目的で、又は他人に損害を加える目的で」… 83
2　「他人の特定商品等表示」…… 86
3　「同一若しくは類似」…… 86
4　「使用する権利を取得し、保有し、又は使用する行為」…… 87
第４　効　果…… 88
1　差止請求 …… 88
2　損害賠償請求 …… 89

第９章　不正競争防止法違反の効果…… 90

第１　差止請求権（３条）…… 井上周一・90
1　概　説 …… 90
2　差止請求権者 …… 90
3　差止請求権の内容 …… 91
4　商号登記の抹消請求 …… 92
5　差止請求権の行使期間 …… 92
6　混同防止措置付加請求権 …… 92
第２　損害賠償請求権（４条）…… 清原直己・93
1　概　説 …… 93
2　要　件 …… 93
(1)　請求権者…… 93
(2)　不正競争行為…… 94
(3)　故意または過失…… 94
(4)　営業上の利益…… 94
(5)　損　害…… 94
第３　損害賠償額の算定およびその他の制度（５条～９条）… 清原直己・95
1　５条１項による損害額の算定（逸失利益の算定）…… 95
(1)　趣　旨…… 95
(2)　適用対象行為…… 95

(3)　侵害品の譲渡数量…… 96
(4)「被侵害者がその侵害の行為がなければ販売することができた物の単位数量当たりの利益の額」…… 96
(5)「被侵害者の当該物に係る販売その他の行為を行う能力に応じた額を超えない限度」…… 98
(6)「被侵害者が販売することができないとする事情」…… 98
2　5条2項による算定（損害額の推定）…… 99
(1)　趣　旨…… 99
(2)　適用対象行為…… 99
(3)「利益」…… 99
(4)　寄与度…… 99
(5)　推定を覆す事由…… 100
3　5条3項による算定（使用量相当額）…… 101
(1)　趣　旨…… 101
(2)　適用対象行為…… 101
(3)「受けるべき金銭の額」…… 101
(4)　損害不発生の抗弁…… 101
4　5条4項（使用許諾料相当額を超える請求）…… 102
5　その他の制度 …… 102
(1)　具体的明示義務（6条）…… 102
(2)　書類の提出等（7条）…… 102
(3)　損害計算のための鑑定（8条）…… 103
(4)　相当な損害額の認定（9条）…… 103
第4　信用回復措置請求（14条）…… 清原直己・103
1　趣　旨 …… 103
2　要　件 …… 104
3　効　果 …… 104

第２編　判例コメント編

●判例コメント・１　ドラゴン・ソードキーホルダー事件
（東京高判平成10・２・26）…… 106
●判例コメント・２　タオルセット事件（大阪地判平成10・９・10）…… 111
●判例コメント・３　フレッドペリー並行輸入事件
（東京地判平成11・１・28）…… 117
●判例コメント・４　正露丸糖衣Ａ事件（大阪地判平成11・３・11）…… 124
●判例コメント・５　プリーツ・プリーズ事件
（東京地判平成11・６・29）…… 130
●判例コメント・６　アリナビッグ事件（大阪地判平成11・９・16）…… 136
●判例コメント・７　日本ゼオン事件（東京地判平成11・12・28）…… 141
●判例コメント・８　ギブソンギター事件（控訴審）
（東京高判平成12・２・24）…… 147
●判例コメント・９　コーヒーサーバー顧客名簿営業秘密事件
（東京高判平成12・４・27）…… 152
●判例コメント・10　マンハッタン・パッセージ事件
（大阪地判平成12・11・９）…… 158
●判例コメント・11　墓石販売顧客名簿不正持出事件
（東京地判平成12・11・13）…… 165
●判例コメント・12　記者会見営業誹謗事件
（東京高判平成14・６・26）…… 170
●判例コメント・13　ブックオフ事件（東京地判平成14・１・24）…… 175
●判例コメント・14　セラミックコンデンサー事件
（大阪地判平成15・２・27）…… 182
●判例コメント・15　アフト事件（東京地判平成15・６・27）…… 188
●判例コメント・16　サイボウズ虚偽陳述流布事件
（東京地判平成15・９・30）…… 194

●判例コメント・17　サンゴ砂事件（東京地判平成15・10・16）…… 199
●判例コメント・18　人材派遣会社登録派遣スタッフ名簿事件
（東京地判平成15・11・13）…… 205
●判例コメント・19　携帯接楽事件（第一審）
（東京地判平成16・１・28）…… 212
●判例コメント・20　セイジョー事件（東京地判平成16・３・５）…… 217
●判例コメント・21　ノックスエンタテインメント事件
（東京地判平成16・４・13）…… 222
●判例コメント・22　「ヤマダさんより安くします！！」表示事件（第一審）
（前橋地判平成16・５・７）…… 229
●判例コメント・23　マクロス事件（東京地判平成16・７・１）…… 235
●判例コメント・24　ヌーブラ事件Ⅰ（大阪地判平成16・９・13）…… 241
●判例コメント・25　ミーリングチャック事件
（大阪地判平成16・11・９）…… 247
●判例コメント・26　アートネイチャー事件
（東京地判平成17・２・23）…… 253
●判例コメント・27　アザレ東京事件（控訴審）
（東京高判平成17・３・16）…… 257
●判例コメント・28　マンホール用足掛具形態模倣事件
（東京地判平成17・５・24）…… 263
●判例コメント・29　自動車用コーティング剤事件
（知財高判平成17・８・10）…… 270
●判例コメント・30　ヌーブラ事件Ⅱ（大阪地判平成17・９・８）…… 277
●判例コメント・31　動く手すり事件（第一審）
（東京地判平成17・12・13）…… 283
●判例コメント・32　エーザイ医薬品事件（第一審）
（東京地判平成18・１・13）…… 289
●判例コメント・33　キシリトールガム比較広告事件（控訴審）
（知財高判平成18・10・18）…… 296
●判例コメント・34　水門開閉装置用減速機事件

（大阪地判平成19・５・24）…… 302
●判例コメント・35　**ローソク事件**（東京地判平成19・５・25）…… 309
●判例コメント・36　**めしや食堂事件**（大阪地判平成19・７・３）…… 316
●判例コメント・37　**氷見うどん事件**（控訴審）
（名古屋高金沢支判平成19・10・24）…… 323
●判例コメント・38　**バリ取りロボット設計図事件**
（名古屋地判平成20・３・13）…… 329
●判例コメント・39　**マスカラ容器事件**（大阪地判平成20・10・14）…… 337
●判例コメント・40　**仕入先情報事件**（東京地判平成20・11・26）…… 344
●判例コメント・41　**黒烏龍茶事件**（東京地判平成20・12・26）…… 351
●判例コメント・42　**マジコン事件**（東京地判平成21・２・27）…… 359
●判例コメント・43　**ゴヤール事件**（知財高判平成22・11・29）…… 364
●判例コメント・44　**商品陳列デザイン事件**（大阪地判平成22・12・16）… 369
●判例コメント・45　**雄ねじ事件**（知財高判平成23・２・24）…… 375
●判例コメント・46　**バスケット事件**（大阪地判平成23・７・14）…… 380
●判例コメント・47　**光通風雨戸事件**（知財高判平成23・７・21）…… 388
●判例コメント・48　**包丁研ぎ器形態模倣事件**
（大阪地判平成23・８・25）…… 393
●判例コメント・49　**水切りざる事件**（大阪地判平成23・10・３）…… 400
●判例コメント・50　**HEART 事件**（大阪地判平成24・６・７）…… 406
●判例コメント・51　**アルミホイール形態模倣事件**
（大阪地判平成24・12・20）…… 413
●判例コメント・52　**コイル状ストラップ付タッチペン事件**
（東京地判平成24・12・25）…… 419
●判例コメント・53　**眼鏡タイプルーペ事件**（知財高判平成24・12・26）　426
●判例コメント・54　**有機 EL 素子事件**（知財高判平成25・３・25）…… 432
●判例コメント・55　**PSE 表示事件**（知財高判平成25・３・28）…… 435
●判例コメント・56　**MCP 事件**（東京地判平成25・11・21）…… 441
●判例コメント・57　**マグセライド脱臭フィルター事件**
（東京地判平成26・５・16）…… 447

●判例コメント・58　ハッピー★ベアー事件（大阪地判平成26・８・21）… 452
●判例コメント・59　ブルーレイディスク事件
（東京地判平成27・２・18）…… 458
●判例コメント・60　レジスター販売先顧客情報事件
（知財高判平成27・２・19）…… 465

●年月日順判例索引●…… 472
・あとがき…… 484